

Press Release

Release No:201301

<報道関係各位>

2012年4月15日

L-カルニチンの TMAO と心臓疾患についての見解

日頃より当協会の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。

先般、クリーブランドクリニック(米国)による腸内細菌叢と心臓疾患リスク要因に関する最近の研究が、Nature Medicine 誌に発表されました。また海外メディアでもこの研究報告が取り上げられ、報道されております。当該発表はトリメチルアミン-N-オキサ イド(TMAO)の心臓疾患リスクに対する影響について、ヒト試験、in vivo および in vitro* 試験の結果をとりまとめたものです。その中で「赤身肉に含有される L-カルニチンが TMAO の生成源である」といった報告がなされています。また当協会も所属する国際団体の連合会である IASDA (International Alliance of Dietary/Food Supplement Associations: 国際栄養補助食品団体連合会 本部ブルッセル) より、このネガティブな研究報告に対して「L-カルニチン含有サプリメントにネガティブな情報となるのでは？」と示唆するコメントも出しました。

これに対し、当協会の会員企業でもありますロンザジャパン社よりこの研究報告に関する同社の見解が出されました。また当協会としては、同社の見解に関してはその趣旨に支持するものであり、今回の米国での研究報告は、ひとつの見解にすぎないと判断しております。

以上、研究報道の内容および当協会の見解についてご報告いたします。

なお、当協会は、この研究報告の経緯や今後の動向に付いては、引き続き情報収集を行ない、科学的な最新情報の収集に努めて参ります。

*in vitro と in vivo. in vitro (イン・ビトロ) とは、“試験管内で(の)”という意味で、試験管や培養器などの中でヒトや動物の組織を用いて、体内と同様の環境を人工的に作り、薬物の反応を検出する試験のことを指します。

<貼付資料>

●ロンザジャパン社の見解 (日本語訳)

—— 本件に関するお問い合わせ先 ——

一般社団法人 国際栄養食品協会(AIFN:アイファン): 広報担当理事 橋口智親

〒163-1320 新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー モバフ 20F

Tel: 03-6365-0424 Fax: 050-3488-8290

公式 Web Site: <http://www.aifn.org>

広報担当理事メールアドレス: tomochika.hashiguchi@aifn.org